

平成27年度「ほっかいどうチャレンジテスト」学年末問題（第8回）
 小学校第5学年

算数 解答（児童用）

1

(1)	5.22	(2)	63	(3)	30
-----	------	-----	----	-----	----

(4)	$1\frac{1}{18}$	$\left[\frac{19}{18}\right]$	(5)	$2\frac{3}{5}$	$\left[\frac{13}{5}\right]$	(6)	$\frac{6}{11}$
-----	-----------------	------------------------------	-----	----------------	-----------------------------	-----	----------------

3割は0.3だから、 $300 \times 0.3 = 90$ となります。

2

(1)	90	(2)	1.2
-----	----	-----	-----

(割合〔倍〕) = (比べられる量) ÷ (もとにする量) なので、
 $9 \div 7.5 = 1.2$ となります。

3

3

3.9を4とみて計算すると、 $4 \times 0.2 = 0.8$

12の倍数は、12、24、**36**、48…
 18の倍数は、18、**36**、54、72…
 なので、最小公倍数は、36になります。

4

(1)	36	(2)	6
-----	----	-----	---

12の約数は、1、2、3、4、**6**、12
 18の約数は、1、2、3、**6**、9、18
 なので、最大公約数は、6になります。

(3)	42、7000	(4)	3
-----	---------	-----	---

学校名	組	出席番号	名前	前	点

5

(1)	10 cm ²	(2)	1、2
-----	--------------------	-----	-----

(平行四辺形の面積) = (底辺) × (高さ) なので、
 $2 \times 5 = 10$
 となります。

1は、台形の面積の公式を使って
 2は、台形を三角形2つに分けて
 考えています。
 3は、計算すると、1、2と同じ
 になりますが、面積を求めた式
 になっていません。

6

4

- 横に補助線を引き、上下に立体を分けて考えると、
 $4 \times 13 \times 5 + 4 \times (13 - 6) \times 3 = 344$
- 縦に補助線を引き、左右に立体を分けて考えると、
 $4 \times 6 \times 5 + 4 \times (13 - 6) \times (3 + 5) = 344$
- 欠けている部分を全体から引くと、
 $4 \times 13 \times (3 + 5) - 4 \times 6 \times 3 = 344$

7

344 cm ³

8

(例)
八角形は、1つの頂点から対角線をかくと、6つの三角形に分けられます。

三角形の角の大きさの和は180°なので、八角形の角の大きさの和は、180×6で求めることができます。

「対角線」という用語を使い、
 1つの頂点から対角線をかくと、6つの三角形に分けられることと、
 三角形の角の大きさの和は180°であることを使って
 分かりやすく考え方を説明できていれば正解です。

1週間は7日なので、
 $(33 + 38 + 34 + 32 + 40 + 47 + 49) \div 7 = 39$

9

(1)	39 L	(2)	54.6 L
-----	------	-----	--------

1日にむだになっている水の量は
 $39 \times 0.2 = 7.8$ (L)
 1週間分なので
 $7.8 \times 7 = 54.6$ (L)